【市民タイムス　平成31年（2019年）4月6日（土）】

決意新た 2高校で入学式

木曽郡内の県立高校2校で5日、入学式があった。木曽青峰には全日制・定時制合わせて126人（男子71人、女子55人）、蘇南には51人（男子27人、女子24人）が入学し、高校生活のスタートを切った。

蘇南高 宣誓文に署名

蘇南の式では、同校伝統の新入生全員による宣誓文署名があった。代表の上越萌衣（うえこしめい）さん（15）＝南木曽中学校出身＝が「支えてくれる方々への感謝を忘れず蘇南高校生徒としての誇りを持って生活していく」と宣誓文を読み上げた後、一人一人が前に進み出て、宣誓への同意を示す署名をした。

宣誓文署名は昭和55年から続き、全員で誓いの言葉を確認して心を一つにする願いが込められているという。同校OBの小幡正樹校長は式辞で、自分の高校時代の思い出を語った。サッカーに打ち込んだこと、人生の指針を与えてくれた恩師との出会いがあったことを振り返り「3年間打ち込めるものを見つけてほしい。自分の殻を破りたくさんの出会いを求めてほしい」と激励した。（高石雅也）

宣誓文に同意し署名をする新入生（蘇南高校）